



山ごころ

大滝せせらぎ

里ごころ

はたおと秩父

人ごころ

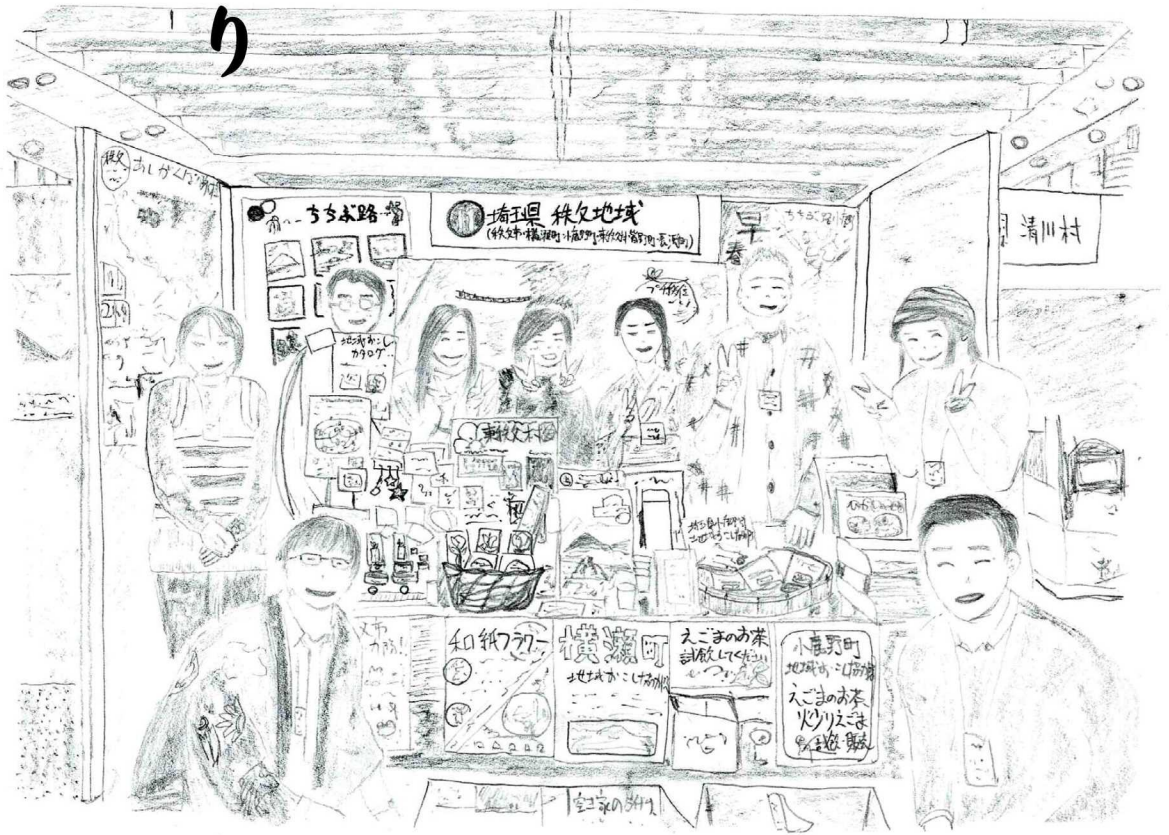
つながる秩父

秩父市

地域おこし協力隊

たより

2〜3月号 (No.56)



第4回地域おこし協力隊全国サミット
秩父地域ブースにて、集合写真

山びこころ 大滝せせりっぎ

第4回地域おこし協力隊全国サミット開催！

春の日差しと風と共に、花粉が飛んでくる季節となりました！ 案の定、扁桃腺を腫らせてしまった谷口。皆さんも、事前の予防策で体調不良を回避しましょう！

表紙でも書かせて頂きましたが、東京開催の「第4回地域おこし協力隊全国サミット」に今年はブース出展をしてみました！それも、念願であった秩父市だけではなく秩父地域全体での出展。

自画自賛ですが！他のどのブースよりもにぎやかで、「秩父」という土地をPR出来たと確信しています。

自分の土地をPRすることは間違いなく最優先ですが・・・外から見たときにはその括りはあまり意味がありません。他の市の違いを頭から説明するより、秩父地域全体を把握し、その説明の上でここはこういうところ、私が居る秩父市はこういうところという順番でお話しするのはとても大事です。

こうした合同イベントで近隣地域を理解することで、結果、より深く自分の地域を知ることが出来る。なんだか不思議な感覚ですが、案外、こういったこととの積み重ねが地域の輪を広げるきっかけだったりする、そんな気がしています。

秩父ブースの様子と
野田総務大臣の視察風景



お問い合わせ・ご質問は・・・

大滝総合支所 地域振興課 谷口まで！

TEL 0494-5510862

里ごころ はたおと秩父①

銘仙PR担当 関川

銘仙卒業式

秩父市立南小学校の卒業式で卒業生に銘仙を着て頂けることになりました。協力隊企画で進めてきた銘仙卒業式も沢山の方の協力を得て形になってきました。卒業式を間近に控えた今、想いを綴りたいと思います。

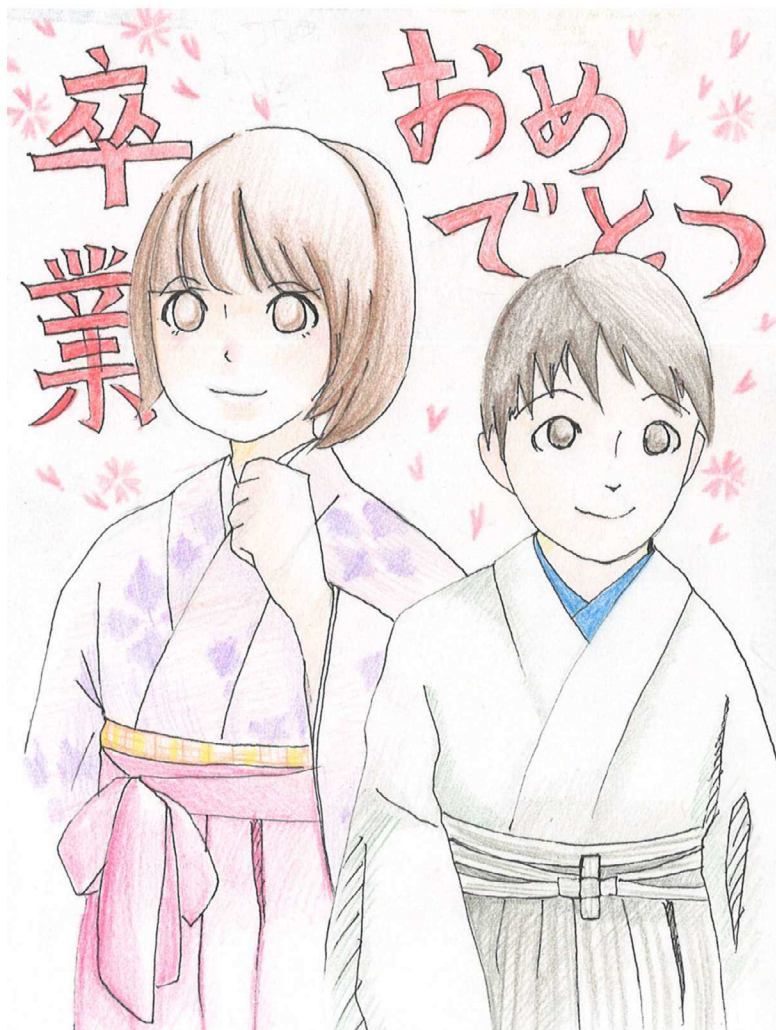
秩父には秩父銘仙を作り続けている事業者が残っています。街中を着物姿で歩くと、昔は銘仙を作っていたという方に声をかけられる事もあります。一方で若い世代は知っていても着たことがないという方がほとんどでした。

日常的に着物を着なくなったため普段着の銘仙を着たことがないのは当たり前です。ですが話を聞いていると銘仙を着てみたいという方も沢山いました。自分では持っていない・着られないという2つのハードルが無くなれば銘仙を着物として残していくことも可能だと私は考えています。

地域おこし協力隊では秩父銘仙協同組合と協力して市内の小学校で型染め出前授業行ってきました。秩父銘仙の歴史と作り方を学んだ後、製造工程の一つである型染めを体験してもらう中で、児童のなかから着てみたいという声があがったのが銘仙卒業式を行う原動力の一つになりました。銘仙を地域に根付いた産業にするためには着物として若い世代に着てもらうことが重要だと思います。

今は銘仙卒業式を滞りなく行うために出来る準備を進めています。銘仙を着てくれる卒業生達の思い出に残る卒業式になるよう頑張ります。

銘仙を着てくれる子達がこれからの長い人生で着物を着る機会がきたとき秩父銘仙を思い出してくれたら嬉しく思います。



里ごころ はたおと秩父②

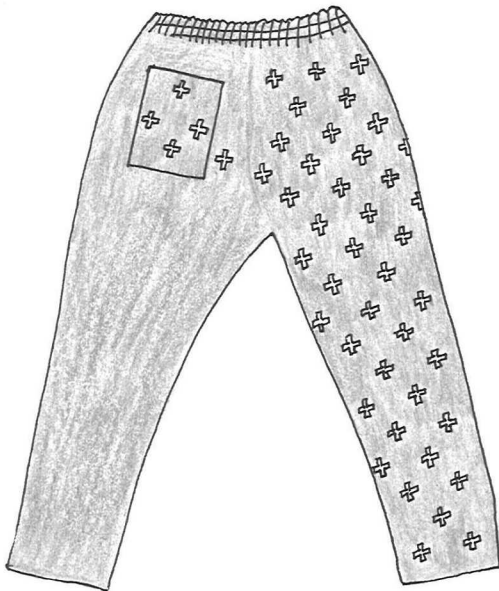
<最近の活動報告>

- 2/3(土) 西武鉄道「旅するレストラン 52 席の至福」 銘仙レディのサポート乗車
- 2/4(日) 地域おこし協力隊全国サミット in 虎ノ門ヒルズ 秩父地域ブース出店
- 2/7(木) 東京インターナショナル・ギフト・ショー 秩父銘仙 PR
- 2/8(木)~9(金) 福岡視察出張 博多織 DC、うなぎの寝床、下川織物、池田耕工房、夢屋など訪問

今回の福岡視察は、自分が行きたいと思っていたものづくりメインの地域文化商社と伝統文化のクリエイター・プロデューサーを育成する学校などで話を聞くことができました。

着物市場の縮小と伝統工芸品の後継者不足という秩父地域と同じ問題をかかえながら、新しい取り組みをされていました。

いろいろ見てきた事、聞いてきた事を、今後の活動に生かしていけたらと思います。



福岡の視察で訪問させていただいた、地域文化商社「うなぎの寝床」さんのオリジナル商品のもんぺです。久留米絣(くるめかすり)の下川織物さんとのコラボレーションで、デザイン性だけでなく、着心地の良さにもこだわって作っているそうです。もんぺの型紙も販売しているので、秩父銘仙で作ってみました。綿の久留米絣と違い絹なので、着心地の良さはあまり感じられませんでした(笑)絹という素材は、私の日常に身近なものではなかったので、どういうものに適しているか?などもっと勉強しなければいけないと思います。

<今後の活動予定>

- 3/17(土) Café 寺's YOKOZE(カフェテラス横瀬) 秩父銘仙 PR
- 4/7(土)~8(日) 秩父ってんべえウォーキング 2Days 秩父銘仙 PR

人ごころ つながる秩父

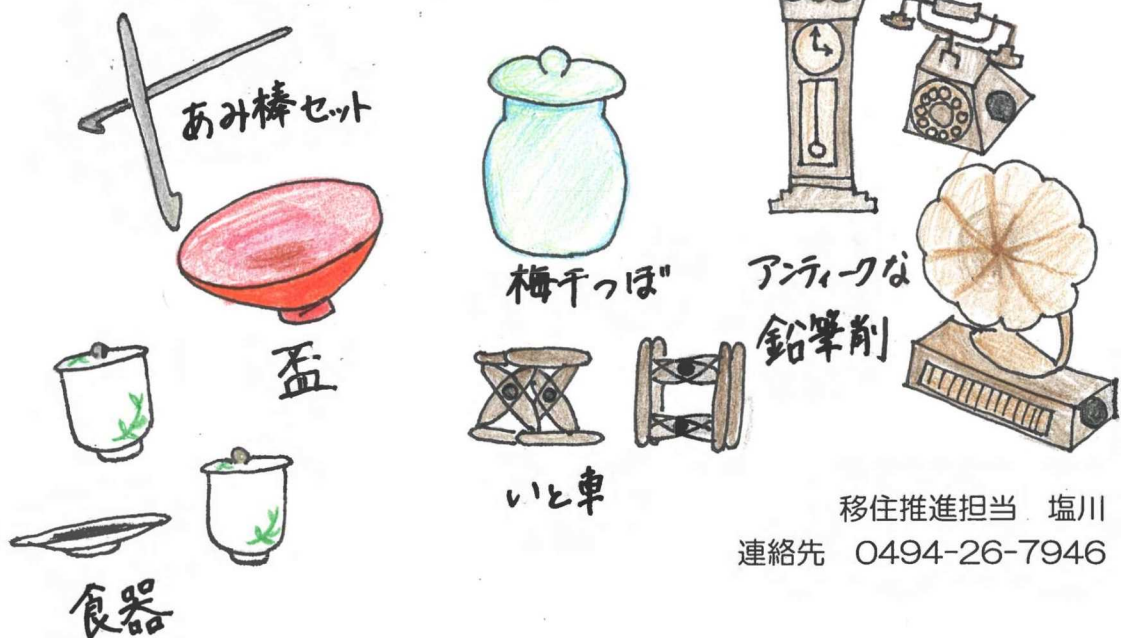
第4回地域おこし協力隊全国サミットに参加しました。

2月4日、東京の虎ノ門ヒルズで行われた、地域おこし協力隊全国サミットに参加しました。秩父市では、秩父地域として横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町・東秩父村と共同でブース出展をしました。

ブースでは各協力隊の活動を持ち寄って展示をしました。私は、空き家の片付けの際に出てきた物を持ち寄り、ほしい方に無料でお渡ししました。いくら無料だからとはいえ、持って行って貰えるか不安でしたが、たくさんの方にお声がけ頂き、ほとんどの物を引き取っていただけました。一番人気だったのは、アンティークの鉛筆削りシリーズで、ブースに並べてから1時間ぐらいで無くなってしまいました。他の物もほとんど持って行ってもらえて、とてもありがたかったです。

また、ワークショップの時間や自由時間に他の自治体の協力隊員とも交流をさせていただき、色々情報交換をすることができました。やはり、どこの場所でも空き家はあり、何とかしたいけれどできていない、という状態があるようです。普段会うことができない関西や九州、北海道や東北の方々とお話できる貴重な時間でした。これから2年目に入りますが、気を引き締めて秩父で活動していきたいと思います。

【持っていった物】



ちちぶ歴史探訪

2月/3月 ~Feb./Mar.

秩父では古くから「お犬様」と呼ばれる狼を奉る信仰を持つ寺社が多い、珍しい地域だといわれています。今回の歴史探訪では、その狼信仰にスポットを当て深く触れてみたいと思います。

・狼信仰とは

一般的に狼信仰とは狼(又は犬)を信仰の対象として奉ることを言います。狼信仰を持つ寺社は狼を山神の「使い」「御眷属(ごけんぞく)」もしくは「警護者」と位置付け、また狼は害獣除け、火防、盗賊除け、災難除けをしてくれる存在だと信じられています。狼信仰をもつ寺社では、狼の護符の頒布、信仰対象である狼に関する儀礼・神事の存在、狼像の奉納、信仰集団の存在、狼信仰に関わる由緒の存在などの現象が見られます。

・秩父の狼信仰

秩父では古くから狼を信仰する寺社がたくさんあります。代表的な狼を信仰する寺社は三峯神社ですが、他にも吉田石間の城峰神社や荒川贄川の猪狩神社、荒川上田野の若御子神社、また長瀬町の宝登山神社なども狼を信仰する寺社です。これらの寺社ではヤマトタケルの伝承と共に語られることが多いです。



(猪狩神社にて撮影)

【参考文献】

西村敏也(2011)「埼玉県秩父市贄川 - 22猪狩神社の狼信仰に関する一考察」『東京成徳大学研究紀要-人文学部・応用心理学-』(18号)162-153頁。

—[2015]「秩父市吉田岩間の城峰神社の歴史と信仰」『武蔵野大学総合研究所紀要』(25号)122-111頁。

(文責: 移住相談センター 塩川佳恵)

・猪狩(いかり)神社

狼信仰のある神社の一つ、猪狩神社について紹介します。猪狩神社は秩父市荒川贄川の猪狩山に鎮座する神社であり、この神社の眷属として狼が位置づけられています。ご利益は、憑き物落とし(狐つき)や害獣よけ(猪鹿)で、毎年行われる春祭りには「お犬替え」という神事が行われ、狼が描かれた護符が配られます。秩父には狼信仰を残す寺社がたくさん残されています。山がちな地形の秩父では、狼は田畑を荒らすイノシシや鹿を退治するありがたい動物だったのでしょうか。これを機にぜひ「お犬様」を探してみてもはいかがでしょうか？

●記事の問い合わせ先●

山ごころ 大滝せせらぎ

文責: 秩父市 大滝総合支所 地域振興課
地域おこし協力隊 谷口 孝史
TEL: 0494-55-0826(地域振興課)
MAIL: ot-chichibu.lg.jp

里ごころ はたおと秩父

文責: 秩父市 商工課 地域おこし協力隊
関川 亜佐子 走出 雪
TEL: 0494-25-5208(商工課)
MAIL: syoko@city.chichibu.lg.jp

人ごころ つながる秩父

文責: 秩父市地域政策課移住相談センター
地域おこし協力隊 塩川佳恵
TEL: 0494-26-7946(移住相談センター)
MAIL: ccbiju@bz04.plala.or.jp

秩父市地域おこし協力隊の日々の活動は



←Facebookページ
「地域おこし協力隊」をチェック!